

令和2年度水戸市観光審議会  
御意見・御質問等に対する事務局の考え方について

第1号議案（後期先導プロジェクト進捗状況）

御意見・御質問	事務局の考え方
<p>水戸の個性と魅力の磨き上げプロジェクト推進にあたっては、水戸市がNHK大河ドラマ「青天を衝け」の舞台になったことを活かし、観光誘客を図れると良い。</p>	<p>NHK大河ドラマ「青天を衝け」については、著作権の都合上、番組タイトル等の使用を含め、本番組に直接関連したイベントの開催は困難な状況です。しかし、本市としては、主人公が水戸にゆかりのある渋沢栄一であることから、テーマを「渋沢栄一と水戸の人々」と称し、水戸城址二の丸展示館においてパネル展示を開催し、誘客促進を図っております。また、弘道館においても「渋沢栄一と弘道館」と称したパネル展示を開催しております。今後、水戸駅、弘道館や歴史館等において、歓迎の意を込めた横断幕やのぼり旗によるPRを実施してまいります。</p>
<p>北関東中核都市の連携を強化し、広域観光を促進してほしい。</p>	<p>引き続き、北関東中核都市連携会議（水戸市、宇都宮市、前橋市、高崎市）などの広域協議会によるプロモーションを推進してまいります。</p>
<p>優良タクシー乗務員認定制度と同様に、優良バス乗務員の認定制度を用意してはどうか。</p>	<p>バスは、観光客だけでなく、市民にとっても大切な移動手段であり、公共交通機関であります。観光客等と直に接する乗務員の質を高める制度を設けることで、よりおもてなしの充実が図れるものと考えておりますことから、バス事業者及び本市関係部署とも情報共有しながら、御提案を含め、おもてなし向上に資する取組について検討してまいります。</p>
<p>季節ごとの花の見方・楽しみ方を分かりやすくPRしてはどうか。</p>	<p>これまで本市では、水戸観光コンベンション協会等とともに桜まつり、あじさいまつり、萩まつり、梅まつり等季節の花に合わせたまつりを開催し、また市植物公園においても季節の花を楽しむイベントや講座等を開催してきました。引き続き、花による誘客促進を図るため、関係者とともに、わかりやすい情報発信に努めてまいります。</p>
<p>購買意欲が高まる土産商品商品の開発や、それらがどこで買えるか等の情報を分かりやすくPRしてはどうか。</p>	<p>本市では、観光土産商品の品質向上及び普及を目的として、水戸市優良観光土産品推奨制度を設けており、土産品として優良であると認めるものを「水戸市優良観光土産品」として登録し、市HPや観光情報誌等でPRしております。また、本市を含むいばらき県央地域観光協議会では、協議会HPにおいて地元民がおすすめする「いばらき県央特選お土産」やそれらを購入できる店舗の紹介を行っているとともに、今年度、地域の特産品を活用した「あす旅ショコラ」の商品開発、販売をしてきたところであります。引き続き、土産品の開発、分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>
<p>目標値達成に向けては、各所との連携において一段の工夫が必要である。例えば、いばらき県央地域観光協議会の「あす旅」HPでは、県の「観光いばらき」HPへのURLリンクが掲載されているが、その逆はない。閲覧者の利便性向上や関心を引くための工夫が必要ではないか。</p>	<p>御指摘のとおり、「観光いばらき」HPでは、協議会HPへのリンクがなされていないことから、今後、HP管理者の県に対して働きかけをしてまいります。あわせて、利用者の視点でHPを改修するなど、閲覧者の利便性向上や関心を引くための工夫に努めてまいります。</p>

第2号議案（インバウンド観光推進プロジェクト）

御意見・御質問	事務局の考え方
<p>外国人観光客を含め、すべての観光客に満足いただけるよう案内表示の整備が必要である。例えば、桜山の梅桜橋のエレベーターには、案内板があるが、日本語のみの記載となっている。最低でも英語や中国語は必要である。</p>	<p>これまで本市では、水戸駅ペデストリアンデッキをはじめ、偕楽園や弘道館等観光拠点の周辺において観光案内板の整備と多言語化を進めてまいりました。偕楽園の梅桜橋エレベーター付近の案内板につきましては、茨城県管轄でありますので、茨城県へ連絡いたします。引き続き、案内表示の整備を含め、更なる利便性向上を図ってまいります。</p>
<p>みとちゃんマークを歩行者用案内表示に活用してはどうか。</p>	<p>歩行者用案内表示へのみとちゃんマーク活用につきましては、景観との調和を考慮しつつ、次年度以降の案内表示の整備とあわせ、活用策を検討してまいります。</p>
<p>歩行者用案内表示は、どこのルート上に設置されるのか。国やエリア別に外国人観光客の歩行特性を把握しておくべきである。</p>	<p>水戸駅南口から桜川沿いを散策しながら、偕楽園東門までを案内するルート上に案内表示を設置することとしております。また、ご指摘の外国人観光客の歩行特性につきましては、外国人観光客の満足度向上に係る効果的な施策を実施していく上で、重要な情報でございますので、引き続き国や県等と連携しながら、情報把握に努めてまいります。</p>
<p>外国人観光客向けに、「何を」「どこで」買ってもらうかを具体的に明示した方が良い。</p>	<p>これまで本市では、HPやパンフレットを多言語化し、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語によりPRを実施しているところであります。しかしながら、御意見のとおり、外国人観光客にご購入いただきたい土産品等の情報は掲載しておらず、PR不足である状況でございます。今後とも水戸観光コンベンション協会等観光事業者とともに、外国人観光客の消費動向などの把握に努めながら、当HP等により、情報発信の強化を図ってまいります。</p>
<p>水戸駅改札コンコース周辺において、祭りやイベントごとに外国人観光客に対して歓迎メッセージの放送を流してはどうか。</p>	<p>水戸駅改札口前のコンコース周辺におけるPRは非常に効果が期待できると思われれます。このことから、管理者であるJR水戸支社等関係機関とも御意見を共有し、検討してまいります。</p>
<p>外国人観光客が訪日できない今、できることを着実に実行していくことが重要であると思う。</p>	<p>水戸市インバウンド推進機構を核に、民間事業者と連携の上、水戸ならではの体験プログラム創出や他自治体との広域連携による情報発信など、インバウンド再開に向けて更なる受入体制の充実及びプロモーションを図ってまいります。</p>
<p>水戸市国際交流協会との連携は、どのようになっているか。</p>	<p>水戸市国際交流センター（水戸市国際交流協会運営）は、市内在住外国人の交流拠点となっており、これまでも外国人による神輿体験等において連携してまいりました。本市を訪れ、滞在を楽しんでいただくためには、外国人目線での取組を実施することも重要であることから、今後とも受入体制の充実に寄与する連携を図ってまいります。</p>

第3号議案（コンベンション誘致推進プロジェクト）

御意見・御質問	事務局の考え方
ユニークベニユ어의活用促進・強化していただきたい。	本市の誇る観光施設をユニークベニユ어として活用していただくため、引き続き、施設管理者等と調整・協議を進めてまいります。また、定期的な意見交換等を通じて大学等とのネットワーク強化に努めるとともに、主催者にとって分かりやすく、魅力が伝わるパンフレットを用いて、誘致活動を行ってまいります。
大学とのネットワーク強化やユニークベニユ어의活用はとても良い。	他自治体と差別化に向けては、偕楽園や弘道館など、ユニークベニユ어의活用をはじめ、水戸市ならではの価値を提供できるよう県や水戸観光コンベンション協会をはじめ、民間事業者とも連携しながら、アフターコンベンション等受入体制の充実を図ってまいります。
コロナ収束後においても、コンベンション誘致は厳しい分野である。他市や他県と差別化するためにも、これまで以上に水戸ならではのおもてなしやアイデアが求められる。	